

薄井憲二 生誕 100 周年
～ スターたちから贈られた
直筆メッセージ入り資料 ～

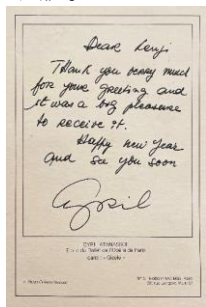
会期 / 2024年3月13日(水) ～ 6月30日(日)
(※ 休館日はwebでご確認ください)

企画・構成 / 関典子 (薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

2024 年は、当コレクションの収集者である薄井憲二氏 (1924.3.30～2017.12.24) の生誕 100 周年にあたります。本展では、3月30日の薄井氏の誕生日にあわせ、バレエ界のスターたちから贈られた直筆メッセージ入りの資料 (葉書・写真・書籍) を展示いたします。ダンサー、指導者、振付家、舞踊評論家、舞踊史研究家、コレクター、コンクール審査員など、幅広く活躍され愛された薄井氏の交友関係の豊かさとお人柄が偲ばれる品々です。どうぞお楽しみください。

シシル・アタナソフ (Cyril Atanasoff 1941-) 新年挨拶

フランスのダンサー、1953年パリ・オペラ座バレエ学校入学、1957年パリ・オペラ座で初舞台、1964年エトワール就任。クラシック、モダン両分野において多くの重要な役を踊った。特に『ジゼル』のアルブレヒト役には定評があり、豊かな演技力と確実なテクニックが高く評価された。世界各国のバレエ団に客演し、1986年の現役引退後は教師として活動。日本のバレエ団への客演も多く、チャイコフスキー記念東京バレエ団『白鳥の湖』(1975)王子役、井上バレエ団『ジゼル』(1982)アルブレヒト役、『コッペリア』(1990)コッペリウス役、京都バレエ団『ドン・キホーテ』(2012・2016)ドン・キホーテ役などに出演。



アダム・クーパー (Adam Cooper 1971-) 誕生日祝い

イギリスのダンサー。アーツ・エデュケイショナル・スクール、英国ロイヤル・バレエ学校で学ぶ。1989年ロイヤル・バレエ団入団 (熊川哲也と同期)、1994年プリンシパル

就任。1995年、マシュー・ボーン振付の男性版『白鳥の湖』初演で主役「ザ・スワン」を踊り一躍スターとなる。1997年ロイヤル・バレエ団を退団。映画『リトル・ダンサー』(2000)、ミュージカル『オン・ユア・トウズ』(2002/振付・主演)、ミュージカル『雨に唄えば』(2012)、演劇『レイディマクベス』(2023)など多方面で活躍。



ミリセント・ホドソン (Millicent Hodson 1945-) 公演記念

アメリカの振付家、舞踊復元の専門家。インディアナ大学とカリフォルニア大学バークレー校で文学を、カリフォルニアとニューヨークで舞踊を学び、1985年に舞踊史・視覚芸術の学位を取得。パートナーで美術家のケネス・アーチャー (Kenneth Archer 1943-) と共に多くの20世紀バレエ作品の調査・復元を実施。1987年、ニジンスキー振付『春の祭典』復元版をジョフリー・バレエが初演。2005年、兵庫県立芸術文化センター開館「オープニング・バレエ・ガラ：よみがえるニジンスキー版『春の祭典』(日本初演)では、薄井憲二氏が「賢者」役で出演 (当時81歳)。



出展資料

- ◆ PC-B-004ws 葉書 (新年のメッセージ入り) / シシル・アタナソフ / 『ジゼル』 / フランス / 1962年
- ◆ PH-C-01-02ws 写真 (誕生日のメッセージ入り) / アダム・クーパー / マシュー・ボーン版『白鳥の湖』 / イギリス / 1996年頃
- ◆ BK-0204-pie 書籍 (公演記念のメッセージ入り) / ミリセント・ホドソン / 『優美さに対するニジンスキーの罪：《春の祭典》初演振付の復元』 / アメリカ / 1996年
- ◆ 公演写真 / ニジンスキー版『春の祭典』復元上演 / 薄井憲二「賢者」役 / 撮影：飯島隆 / 兵庫県立芸術文化センター開館ガラ公演 / 2005年11月12日～13日



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用